

Numazu Fresh News

狩野川台風記憶をつなぐ！

～沼津工業高等専門学校生が狩野川台風の記憶を語る
座談会・放水路見学に参加しました～

発信日：2015/3/20

発信者：沼津河川国道事務所

3月19日（木）、沼津工業高等専門学校の生徒9名と教師2名が狩野川台風の記憶を語る座談会と放水路見学に参加しました。

今回は、狩野川台風の際に、最も被害の大きかった熊坂地区で被災され一命を取り留めた方に体験談をお話し頂きました。

また、今年7月に完成50年を迎える狩野川放水路の見学も行い、放水路の役割や効果を学んでいただきました。



＜西島萬徳さんの講話＞

伊豆市熊坂のご自宅が濁流に飲まれ、本人を含む7名が流されました。ご本人、お父様、奥様、お弟様の4名は一命を取り留めましたが、お母様とご兄弟がお亡くなりになったそうです。

ご自宅の浸水、家族皆での屋上へ避難、濁流に流されてから陸に這い上がるまでの体験談をお話し頂きました。

西島様は、「懐中電灯」が手元にあったことで命が救われたことや、災害時には早め早めに避難すべきとのメッセージを送られました。

＜放水路見学＞

雨が降っていたため、放水路見学は、車内（バス）にて行いました。職員からは、洪水時には、狩野川の計画流量4,000m³/秒の半分にあたる2,000m³/秒の流量を放流することができ、狩野川下流域の水位を低下させることができることを説明しました。放水路を初めて知る参加者が多く、効果を学んで頂くことができました。



放水路完成50年記念のロゴマークが完成しました！！



「狩野川放水路」は今年7月に完成から50年を迎えます。今後も見学会を積極的に開催するとともに、狩野川台風の記憶をつなぐ活動を進めていきます。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。